

さくらほっと NEWS

vol.42

平成29年冬号



左から石倉准教授(中央放射線部副部長)、芝本教授(放射線科部長・中央放射線部長)、
廣瀬技師長(中央放射線部技師長)、杉江准教授(放射線科副部長)、土屋技師(中央放射線部)
(アジア初導入の放射線科治療機器「トモセラピー ラディザクト」の前で)

最新鋭の機器を活用し、
最高レベルの放射線診断・
治療を提供 ……2

名市大病院のチカラ vol.10 …… 3
ミッドタウンクリニック名駅と共同研究を開始 …… 4
中央臨床検査部が「ISO15189」の認定を取得
「安全なお産」のための地域医療貢献
患者情報ライブラリーセミナーのご案内

国の方針に基づき、地域医療連携を推進しています。

国の方針▶医療機関の機能分化

特定機能病院(名古屋市立大学病院)

入院や手術などの専門的な診療・検査を含む高度先進医療を担当

地域の医療機関(かかりつけ医)

風邪などの日常的な病気や症状が安定した慢性疾患などの患者さんに対する医療を担当

地域医療連携の推進

診断が確定し症状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。

※症状が悪化した場合などは、改めて名古屋市立大学病院へ紹介されます。



最新鋭の機器を活用し、 最高レベルの放射線診断・治療を提供

放射線医学の進歩はとても速く、5～10年の間隔で新たな機器が次々と生み出されてきます。そのような状況の中で、これまで当院は積極的に最新機器を導入し、最高水準の放射線医療を確保してきました。

今回は当院が持つ最新鋭の放射線機器の中から、今年10月にアジアで初めて導入した放射線治療機器「TomoTherapy Radixact (トモセラピー ラディザクト)」、昨年6月に日本で初めて導入したMR検査機器「Ingénia 1.5T MR-RT sim (インジニア)」をご紹介します。

アジア初導入 『速度』と『精度』が大幅に進化 TomoTherapy Radixact (トモセラピー ラディザクト)



「ラディザクト」は、現時点における最新・最高バージョンの放射線治療機器(トモセラピー)です。この装置の特長の一つは『治療の高速化』で、従来の装置に比べ、治療時に身体を静止する時間が短くなるため、患者さんの負担を軽減させることが可能になります。

もう一つの特長が『治療精度の向上』であり、治療した部分にどの程度の放射線があたり、その効果がどうだったかという点について詳細に把握することができるため、より現状に合った治療を行えるようになります。

日本初導入 MRI画像を活用し、高精度な放射線治療計画を作成 Ingénia 1.5T MR-RT sim (インジニア)

前立腺や脳、骨軟部などに対しては、MRI画像の方が鮮明・詳細に病変が確認できますが、諸々の問題により、従来は放射線治療計画を作成する際、CT画像を用いてきました。

そのような状況を打破したのが「インジニア」です。この機器は、これまでの問題点を克服する機能を備えており、MRI画像を用いて放射線治療計画を作成することができます。従来よりも高精度な放射線治療を提供することができます。現在は前立腺がんだけを対象としていますが、研究を重ね、徐々に対象疾患を広げていく予定です。



放射線科
芝本部長

日進月歩の放射線治療分野において、トップランナーであり続ける

放射線治療はこの10数年の間に著しく進歩しました。いくつかのがんでは全く切除することなく、手術と同等(以上)に完治させることができるようになっています。ただし、このようながん治療に到達するには最先端の装置とそれを使いこなす優秀なスタッフが必要です。当院は、その両方を備えたがん放射線治療の最先端病院と言えます。がんで悩まれる患者さんは、一度当院放射線科で相談を受けられることをお勧めします。

名市大病院のチカラ Vol.10

肝・膵臓内科

各分野に最新機器を導入し、患者さんに満足していただける最良の医療を目指す



肝・膵臓内科
野尻部長

肝臓グループ

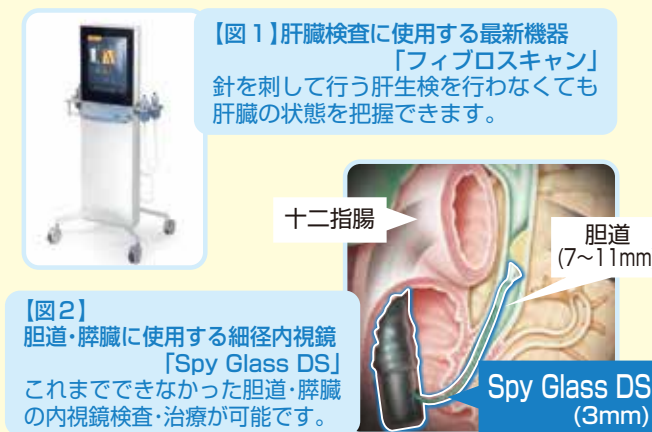
C型肝炎がほぼ完治する時代になり、現在は脂肪肝が原因となって発生する肝硬変や肝がんが問題となっています。これらの疾患に対する検査は、これまで肝臓に直接針を刺して組織を取る肝生検のみでしたが、当科が導入した最新機器「フィブロスキャン」を活用すれば、機器を皮膚にあてるだけで肝臓の硬さや脂肪量が分かり、これまで以上に肝硬変や脂肪肝の早期診断が可能になります(図1)。また、針を刺すという危険を伴う肝生検を行わなくても病状が把握できるという点も大きなメリットです。

胆道・膵臓グループ

胆道(胆のう・胆管)や膵臓には1cm以下という非常に細い部分があるため、以前までは直接観察することができず、造影剤を使ったCT検査などで状態の把握をしていました。しかし、平成27年に「Spy Glass DS」という太さ3.5mmの細径内

視鏡が開発され、当院にも導入されました(図2)。この内視鏡を導入することで、開腹手術をせずに巨大な胆石の治療が可能になったほか、腫瘍の良性・悪性の診断能が飛躍的に向上し、手術で切除が必要な範囲をより正確に決めることができるようになりました。

これらの最新機器を積極的に活用するとともに、機器を使用する我々の技術向上にも引き続き尽力し、患者さんに満足していただける最良の治療を提供できるよう今後も取り組んでいきます。



皮膚科

地域で最も信頼される皮膚科を目指して、全ての皮膚がんに対して最新の治療を行う



皮膚科
森田部長

皮膚がんは高齢化に伴って近年増加している疾患の一つです。早期発見、早期治療を行うことができれば小さな手術等で対応することができますが、病状が進行したものでは、皮膚の移植などの皮膚欠損部の再建を伴うような大きな手術が必要になることもあります。当科では、特に悪性黒色腫(ほくろのがん)の治療に力を入れております。センチネルリンパ節生検(がんの進行具合を調べるための検査)に用いる最新機器(図1)も導入し、診断から手術、化学療法、免疫療法など全ての治療に対応しております。また、その他の皮膚がんにつきましても、放射線科や形成外科などの他科と協力し、できる限り多くの選択肢を用意することで、患者さんに最善の治療を提供できる体制をとっております。皮膚がんに対する手術件

数は年間120件を超えており、この地域で最も信頼される皮膚科を目指して診療科一丸となって日々診療を行っております。

【図1】センチネルリンパ節生検に使用する最新機器「Hyper Eye Medical System」



センチネルリンパ節生検の模式図



ミッドタウンクリニック名駅と健康増進等を目的とした共同研究を開始

平成29年10月、名古屋駅前のJPタワー 5階に(医)ミッドタウンクリニックが運営する健診センター「ミッドタウンクリニック名駅」が開設されました。(リゾートトラストグループである(株)アドバンス・メディカル・ケアが運営支援)

開設に伴い、同クリニックと当院との間で健康増進等を目的とした共同研究を開始することとなりました。同クリニックで得られる健診データを利用し、当院が予防医療などの健康増進を目的とした研究を実施します。

また、同クリニックとは地域医療連携についても推進させていきます。



JPタワー



ミッドタウンクリニック名駅

受付

充実の検査設備



共同研究開始に伴う覚書締結式

左：同クリニックの草野敏臣理事長
右：本学の郡健二郎理事長

中央臨床検査部が国際規格「ISO15189」の認定を取得

当院中央臨床検査部は、臨床検査室の国際規格である「ISO15189:2012」の認定を平成29年7月13日付けで取得しました。

ISO15189とは

国際標準化機構(International Organization for Standardization：ISO)が規定した国際規格で、『検査室で行われる検査結果の質を保証するために必要な技術的能力を、その検査室が有しているかを判定し認定』するものです。認定取得した臨床検査室の検査値は、国際的に信頼できることを意味します。

今後に向けて

認定の取得により、当院で日々報告している検査結果が品質保証された精度の高い結果であるということが国際的に認められました。今後も検査の品質を高く維持管理して、診療に有益な検査報告ができるように取り組んでいきます。



国際標準化機構からの認定証

「安全なお産」のための地域医療貢献

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、この地域における「安全なお産」の実現に向けて日々取り組んでいます。

その取り組みの一環として、当院の産婦人科医と助産師が県内の救命救急士に対する周産期救急に関する講習会を平成24年から実施しています。これまでに計50回開催し、受講者は1,300名を超えました。この講習会を受けた救命救急士の中には、実際に妊産婦の自宅や救急車の中でお産の介助を行い、安全に医療機関まで搬送できた方もいらっしゃいます。

今後もこの地域での「安全なお産」に少しでも貢献できるよう、引き続き尽力してまいります。



講習会を受講した救命救急士と当院の産婦人科医・助産師



講習会の様子

患者情報ライブラリーセミナーのご案内

日 時	平成29年12月26日(火) 14時00分～14時30分	定 員	30名程度(先着順)
場 所	患者情報ライブラリー(病棟・中央診療棟 B1階)	担 当	患者情報ライブラリー
内 容	早期胃がんの診断と内視鏡治療 消化器内科 講師 志村 貴也	※次回(2月開催)については当院ホームページ上でお知らせします。	

事前申込不要・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。